

11がっいただきます～す

令和6年度11月号
小国町立小国小学校
栄養教諭 河内真紀子

急に肌寒い日が増えてきました。そろそろ初雪の便りも聞こえてきそうです。
収穫の秋になり、たくさんの小国産の食べ物が出回っています。給食でも
たくさんの小国産の食材を使って、小国の良さを伝えていきたいと思っています。



のぞいてみよう！給食の歴史 ～心を育む給食週間～

11月25日(月)～11月29日(金)は心を育む給食週間です。

今年は、小国産の食材をたっぷり使った給食と日本の郷土料理です。小国産
をしっかり味わうとともに、給食の歴史や意味について知ってほしいと思います。
五感をフルに使って、学校では給食について、家庭では食について考えてみ
ませんか？



明治22年

山形県鶴岡町(今の鶴岡市)の忠愛小学校で、お弁当を持って来ることの
できない子どもたちに、おにぎりとおかずの昼食を与えたのが始まりです。



昭和7年

学校に来られない子や、体の弱い子を救うために、全国各地で給食が始まりました。

昭和19年

戦争で食べ物がなくなり、米・みそ等の特別配給で給食が実施されました。
学校のグラウンドは食べ物を手に入れるために、畑にもなりました。



昭和21年12月24日

外国から送られたミルクや缶詰で再び学校給食が始まりました。

小国町の戦後の給食は・・・

昭和26年 小国小学校で完全給食の開始

(完全給食とは、パンかごはん・牛乳・おかずがそろった給食のこと)

昭和58年 米飯給食の開始 (ごはん給食が始まりました。)

平成25年6月 叶水小中学校で完全給食が始まる。

平成26年4月 新しい小国小学校が完成！炊飯施設完備。

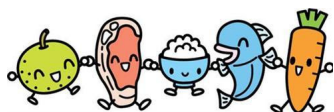
小国中学校で完全給食が始まる。



今年で学校給食が始まって135年。当時は、子どもの栄養補給が一番の目的でした。

現在は、「食」を通して人間育成、和食の推進、マナーの体得、地域に根ざした給食へと目的も
大きく変わりました。食育は学習の一つとして位置づけられています。

たくさんの食べ物があふれる今だから、食べ物の大切さ、何をどの
ように選べばいいのかなどを考えるきっかけになればと思っています。



Book Lunch ～食と読書を楽しもう～

10月30日～11月11日まで、小国小では読書まつりが
開催されます。「今年はおどんなお話を給食にしようかな」と
探してみると、食べ物を扱う本がとて多いことに驚かされます。

給食では一足早く、28日から本に出てくる料理や食べ物を給
食にしました。高学年にはちょっと懐かしい本が多いかもしれま
せん。

先日、低学年の子どもたちが10月の献立表を見て、「この本のマークは何?」と何か違う献立
なのかなと興味津々。また昨日は、「明日はどの本?」と、献立表を見ながらどのお話の食べ物が
出てくるか楽しみにしているようです。

給食で興味を持ち、今まで手にしなかった本を読みたいと思うきっかけ作りになればと思
っています。



今年の本は・・・



- 10/28 まっしろくま
- 10/29 こまったさんのサラダ
- 10/30 おやさいしろくま
- 11/1 さるかにかっせん
- 11/5 とらばあちゃんのうめしごと
- 11/6 チョコレート
- 11/7 こまったさんのハンバーグ
- 11/8 14ひきのかぼちゃ



「芋煮会&おにぎりデー」11月22日

芋煮の季節がやってきました。今年も、県内あちこちの河原での芋煮会
がニュースになっていましたね。

小国小では、11月22日(金)にたっぷり小国の芋煮をいただきます。

あわせて、母親委員会企画の「自分で作るおにぎりデー」となります。給食室で作った芋煮と、
自分で作ったおにぎりをいただきます。子どもたちは、毎年とってもいい顔でおにぎりを食べてい
ます。今年はおどんなおにぎりを作って、どんな顔で食べるのか、とても
楽しみです。

詳しくは、11月1日発行の母親委員会だよりでお知らせがありま
すので、そちらをご覧ください。

